

★★★★ 看護管理学領域 ★★★★★

Nursing Management

看護管理学とは

看護管理学は応用科学であり，組織論，組織行動論などの経営学の知識を看護に応用・適用するとともに，看護管理に関わる独自の知識を探求するものであり，すべての看護職がその職務を遂行する上で必要な知識です。

看護管理の中心的概念は，患者ケアを個別にマネジメントすること，ケアを組織的にマネジメントすること，さらに専門職として制度や政策を通して環境をマネジメントすることにつながるものであり，看護の質向上のために，計画，組織化，指揮，統制を行うものです。

特色ある教育・研究内容

◆学部教育◆

担当者：鄭佳紅，村上真須美，丹野真理子

2007年の看護教育のカリキュラム改訂で，新たに統合分野に看護管理が位置づけられましたが，本学では開学当初より看護管理学教育に取り組んできました。

本領域は，看護関係法規，災害看護学，看護マネジメント論・看護マネジメント演習・看護マネジメント実習を必修科目として授業を行っています。看護マネジメント論および演習の主な講義内容は，マネジメントプロセス，ケア提供システム，職場の人間関係，プロフェッショナリズム，問題解決・変革理論，キャリア発達，看護政策，看護業務実践法など，多岐にわたっています。実習は，授業で学んだ内容について，実際の看護組織を通して理解を深めることをねらいとしています。学生の自主性を確立し，計画的に学習できること，役割の移行(トランジット)を学習できることをめざし，シャドウイングを前提とした実習を行っており，学生1～2名につきプリセプター(看護師長)1名が学生の学習を支援しています。2009年度からは，看護業務実践法の一環として夜間実習を導入しています。

教員の名前を
クリックしてね♪



◆大学院教育◆

担当者：鄭 佳紅，村上 眞須美

看護管理学領域（看護システム研究室）では、2021年度までに博士前期課程：35名が修了し、博士後期課程：14名が修了しています。看護管理学等の科目を有し、研究テーマは主に、看護職の人材育成、ヘルスケアシステムの開発、看護の質評価、ワークライフバランス、保健医療福祉の災害の備えに関する研究等があります。

◆継続教育：認定看護管理者教育課程◆

認定看護管理者教育課程（ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル）において講義や演習支援を行い、看護管理者の育成に貢献しています。

担当教員と研究課題

【鄭 佳紅，村上 眞須美，丹野 真理子】

- ・看護ケアの質評価・改善に関する研究
- ・質改善推進者のコンピテンシーに関する研究
- ・看護基礎教育における看護管理学教育の教育成果に関する研究

【鄭 佳紅】

- ・病院における地域の連携システム開発と人材育成に関する研究
- ・医療安全と病床規模の観点からみた看護職の「患者把握」に関する研究
- ・看護記録の法的位置づけ、看護記録のあり方に関する研究

【村上 眞須美】

- ・看護職の仕事と生活の調和に関する研究
- ・看護職が働く職場のハラスメントに関する研究
- ・災害の備えに関する研究（病院、訪問看護ステーション等）

【丹野 真理子】

- ・看護師長のコンピテンシー、情動知能、経験学習に関する研究

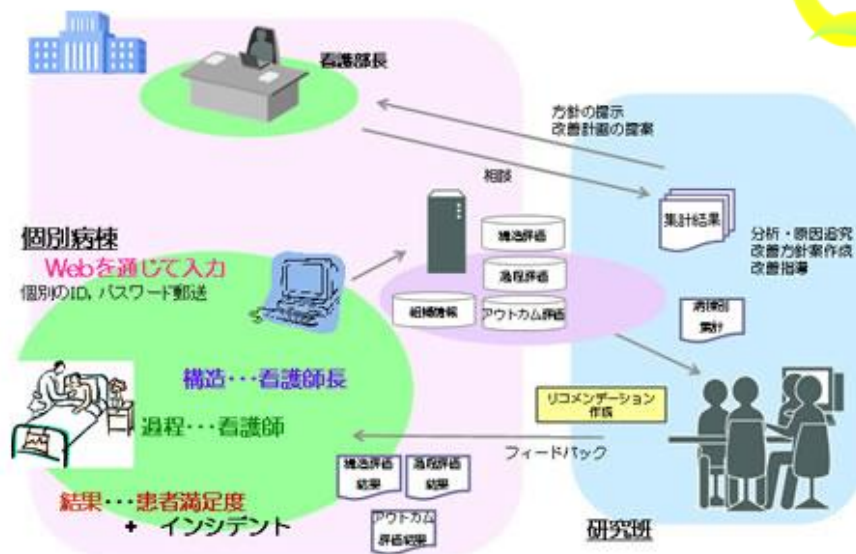
研究内容の紹介

◆看護ケアの質評価・改善に関する研究◆

看護ケアの質評価・改善のため、日本看護質評価改善機構のメンバーとして取り組みを行っています。

看護ケアの質評価・改善システムは、Web を用いて看護の質の評価および改善を行うシステムです。評価は病棟単位で実施し、評価結果と質向上をめざした改善点についての報告書（リコメンデーション）を返すことで、具体的な改善が検討できるように支援しています。また、テキストマイニング手法を用いたデータの自動分類、クリニカルインディケータの抽出と精練、質評価・改善を促進するデータベースの構築をしています。

Web版看護ケアの質評価・改善システムのしくみ



(参照 : <http://www.nursing-qi.com/>)